

衆議院国土交通委員会ニュース

【第211回国会】令和5年3月15日（水）、第3回の委員会が開かれました。

1 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律案（内閣提出第17号）

- ・ 齊藤国土交通大臣から趣旨説明を聴取しました。
 - ・ 齊藤国土交通大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。
 - ・ 参考人から意見を聴取することに協議決定しました。
- （質疑者）加藤鮎子君（自民）、伊藤渉君（公明）

（質疑者及び主な質疑事項）

加藤鮎子君（自民）

- （1） ローカル鉄道の再構築
 - ア ローカル鉄道再構築についての今後の取組
 - イ 国がローカル鉄道も含めた鉄道ネットワークの維持のグランドデザインを示す必要性
- （2） 鉄道事業再構築事業
 - ア 鉄道事業再構築事業にインバウンド等の新規利用者を獲得するための施策が含まれていることに対する見解
 - イ ローカル鉄道におけるICカード等のキャッシュレス化導入の推進に向けた支援の必要性
- （3） 再構築協議会
 - ア 再構築協議会における議論に資するため、JR各社に対し鉄道利用状況等のデータの開示を指導する必要性
 - イ 再構築協議会に参画する地方自治体の人材確保の支援に対する見解

伊藤渉君（公明）

- （1） 令和4年度第二次補正予算に盛り込まれた第二種運転免許の取得に対する支援措置に対するバス及びタクシー業界の要望の状況
- （2） 鉄道事業再構築事業で鉄道再生に地域が取り組むことに対する見解及びその事業イメージ
- （3） 鉄道事業者に対して社会資本整備総合交付金の積極的な活用を促すとともに、制度の趣旨も含めて地方自治体や交通関係者に周知を行う必要性
- （4） JR上場4社について、ローカル線を含む鉄道の適切な維持の努力義務を「旅客鉄道株式会社及び日本貨物鉄道株式会社に関する法律」（JR会社法）に基づく大臣指針で定めていることから、バス等への転換後の運行費用等については各社が協力する必要性
- （5） 人口減少社会により公共交通の使命が大きくなることを踏まえた、地域公共交通の活性化に向けての大臣の見解